

安全データシート



1. 化学品及び会社情報

法人名 : 国立研究開発法人産業技術総合研究所
 住所 : 東京都千代田区霞が関 1-3-1
 担当部門 : 計量標準総合センター 計量標準普及センター 標準物質認証管理室
 担当者 : 認証標準物質担当
 電話番号 : 029-861-4059 ファックス番号 : 029-861-4009
 緊急連絡電話番号 : 同上

作成日 : 2012年6月5日

改正日 : 2020年1月31日

整理番号 : 7512001

化学品の名称(製品名) : 認証標準物質 NMIJ CRM 7512-a ミルク粉末(微量元素分析用)
(Trace Elements in Milk Powder)

推奨用途及び使用上の制限 : 本標準物質は、ミルク粉末やそれに類似した試料中の微量元素の定量分析における分析精度管理に用いる他、分析方法あるいは分析装置の妥当性確認等に用いることができる。試験・研究用以外には使用しないこと。
 本標準物質は、標準物質(日本産業規格(JIS) Q0030に定められるもの)である。

2. 危険有害性の要約

GHS分類 : 分類できない
 GHSラベル要素 : 分類できない
 注意喚起語 : —
 危険有害性情報 : —
 その他の有害性情報 : 大量に粉末を吸入した場合、呼吸器への蓄積による障害の原因となる。
 注意書き : [安全対策]
 試験研究用途以外には使用しないこと。
 本製品を使用する時には飲食または喫煙をしないこと。
 保護手袋・保護眼鏡を着用すること。
 粉末を吸入しないこと。
 眼・皮膚または衣類に付けないこと。
 環境中への放出を避けること。
 取扱い後はよく手を洗うこと。
 [応急措置]
 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄すること。
 眼に入った場合 : 清浄な水で十分に洗い流すこと。必要に応じて医師の診断を受けること。
 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、安静・保温に努めること。
 皮膚に付着した場合 : 水と石鹸で十分に洗い流すこと。皮膚刺激が生じた場合は医師の診断を受けること。

漏出物を回収し、適切に処理すること。

[保管]

室温で清浄な場所に遮光して保存すること。

[廃棄]

内容物や容器は国・都道府県・市町村の規則に従って廃棄すること。

上記で記載が無い危険有害性は分類対象外または分類できない。

3. 組成及び成分情報

| | |
|---------------|---------|
| 化学物質・混合物の区別 | : 単一製品 |
| 化学名又は一般名 | : ミルク粉末 |
| 化学特性 | : - |
| 分子量 | : - |
| CAS 番号 | : - |
| 含有量 | : 100 % |
| 官報公示整理番号(化審法) | : - |
| 官報公示整理番号(安衛法) | : - |

ただし以下の元素を含む。

Ca、Fe、K、Mg、Na、P、Ba、Cu、Mn、Mo、Rb、Sr、Zn

4. 応急措置

| | |
|-------------|--|
| 吸入した場合 | : 空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努める。医師の診断を受ける。 |
| 皮膚に付着した場合 | : 清浄な水で十分に洗い流す。汚染された衣服や靴等は脱がせ、医師の診断を受ける。 |
| 眼に入った場合 | : 清浄な水で十分に洗い流す。医師の診断を受ける。 |
| 飲み込んだ場合 | : 水でよく口の中を洗浄する。医師に連絡する。 |
| 応急処置をする者の保護 | : 個人用保護具を着用すること。 |

5. 火災時の措置

| | |
|-------------|--|
| 消火剤 | : 周辺火災適応消火剤。 |
| 火災時の特有危険有害性 | : なし。 |
| 特有の消火方法 | : 火元の燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。 |
| 消火を行う者の保護 | : 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。防火服、耐熱服、防護衣、空気呼吸器、循環式酸素呼吸器、ゴム手袋、ゴム長靴等の保護具を使用する。 |

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。
- 保護具及び緊急時措置 : 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入したりしないようにする。
- 環境に対する注意事項 : 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
- 回収、中和 : 漏出した製品は、ウエス、雑巾または土砂等に吸着させて空容器に回収し、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。
- 二次災害の防止策 : 粉塵が飛散しない方法で空容器にできるだけ回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 目への接触を避ける。
- 局所排気・全体換気 : 蒸気やミストが発生する場合は、発生源を密閉し局所排気装置を設置する。
- 安全取扱注意事項 : 粉塵の吸入を避ける。
研究目的以外では使用しないこと。

保管

- 適切な保管条件 : 室温で清浄な場所に遮光して保存すること。
- 安全な容器包装材料 : ガラス

※標準物質としての適切な保管条件、使用に関する注意事項については、認証書を参照のこと。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

設定されていない

許容濃度（物質名）

- ・ACGIH TLV-TWA : 設定されていない
- ・日本産業衛生学会勧告値 : 設定されていない
- ・OSHA PEL TWA : 設定されていない

設備対策

- ・粉塵が発生する場合は、発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。

保護具

- ・防塵マスク、保護手袋、安全眼鏡

9. 物理的及び化学的性質

- ・外観 : 粉末
- ・色 : 乳白色

| | |
|---------------------------------|---------------------|
| ・臭い | : データなし |
| ・pH | : データなし |
| ・融点 | : データなし |
| ・沸点 | : データなし |
| ・引火点 | : データなし |
| ・爆発範囲 | : データなし |
| ・蒸気圧 | : データなし |
| ・相対蒸気密度 (空気 = 1) | : データなし |
| ・比重又は嵩比重 | : データなし |
| ・溶解度 | : 一部の成分は水に溶解する可能性あり |
| ・n-オクタノール/ 水分分配係数 (log Po/w) | : データなし |
| ・自然発火温度 | : データなし |
| ・分解温度 | : データなし |
| ・燃焼性 | : データなし |

10. 安定性及び反応性

◇安定性

- ・通常条件下で安定である。

◇反応性

- ・データなし

◇危険有害反応性

- ・データなし

◇避けるべき条件

- ・日光、湿気

◇混触危険物質

- ・データなし

◇危険有害な分解生成物

- ・データなし

11. 有害性情報

眼に対する重篤な損傷性 刺激する可能性あり

／眼刺激性

呼吸器感作性 多量に粉塵を吸収した場合、呼吸器への蓄積による障害の原因となる。

12. 環境影響情報

生態毒性

- ・データなし

分解性・濃縮性

- ・データなし

生体蓄積性

- ・データなし
- 土壤中への移動性
- ・データなし
- オゾン層への有害性
- ・データなし

13. 廃棄上の注意

- ・関連法規および地方自治体の条例に従って廃棄すること。
- ・空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去してから処分する。

14. 輸送上の注意

| | |
|-----------|----------------------------------|
| 国連番号 | : 該当なし |
| 国連分類 | : - |
| 品名 | : - |
| 容器等級 | : - |
| ICAO/IATA | : 該当なし |
| 海洋汚染物質 | : 該当なし |
| 注意事項 | : 直射日光を避け、容器の落下、転倒等に注意し、慎重に運搬する。 |

15. 適用法令

適用法令なし

16. その他の情報

その他

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、全ての情報を網羅しているわけではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

記載内容は情報提供を目的としており、取扱い上のいかなる保証をなすものではありません。